

第一号議案

2015年度活動結果報告

総合的な活動結果

NALC「天の川クラブ」の会員は、平均年齢73歳となり高齢化が一層進みましたが、活動会員は昨年を少し上回る事ができました。時間預託活動は、継続的に利用していた会員が、施設へ入所されたことなどにより、家事・介助支援の要望が減り、実績は計画を下回りました。一方、奉仕活動は、新しい活動者も増えたことにより、計画を若干上回ることが出来ました。

地域包括ケアシステムへの取り組みは、昨年から枚方市と「介護予防・日常生活支援総合事業」の新事業に関して、意見交換を実施してきました。

2015年度に掲げた活動計画については、以下の通り実施しました。

(1) 会員増強への取り組み

会員による「ロコミ」運動を推奨した結果、57名入会されましたが、退会も多く、会員増には繋がりませんでした。

(2) 地域包括ケアシステムへの取り組み

枚方市から要請を受け、新しい総合事業の「意見交換会」と「第1層協議体」にも参加し、地域貢献の一役を担う観点から、「新事業検討委員会」を2016年2月に立ち上げ、この事業を受託する方向で取り組み始めました。

(3) 子育て支援への取り組み

現ナルクの規定では、健常なお子さんには時間預託での活動は対象外のため、本部の時間預託委員会で規定を見直し、支援が出来るようになりました。

(4) 地区会充実への取り組み

各地区の更なる活性化を図るため12月に地区運営委員・世話人を対象に「地区会相互の交流会」を開催し、情報交換を行うとともに「地区会運営細則」の見直しも行いました。

(5) 会員活性化への取り組み

会員の技量アップのため、種々の研修会を実施しました。また10月には地区対抗のイベント「天の川オータムフェスタ」を実施した結果、地区間及び会員の連携を深めることができました。

(6) 東日本大震災被災地支援

2015年8月に仮設住宅での「パラソル喫茶」が終了となり、入居者さんとのお別れ会で必要とされる品と義援金を宮城拠点へお届けしました。

※ 2015年度に実施しました主な活動内容は、別表1を「時間預託活動」と「奉仕活動」は、別表2をご参照ください。

1. 時間預託活動

担当 近藤秀子・角山正男・一宮順世

ナルク活動の大きな柱の一つです。会員同士が助け合い支えあって、在宅で自立した生活を送る事を目指してきました。

(1) 会員相互扶助活動

- ①家事介助活動は、会員の高齢化による施設への入所や介護サービス利用などにより利用申込が少なくなり、計画に対し78%と未達でした。
- ②庭・植木の手入れは、各地区でコーディネート、提供体制を整備しました。松の手入れや人数不足等自地区で対応できない時は、他地区から支援する体制が定着しました。利用は、計画に対し約90%となりました。
- ③ハウヘルパーは、事務所で包丁研ぎを実施した結果、多くの利用があり利用点数は計画を上回りました。
- ④送迎は、車椅子で乗降が可能なナルク所有の福祉車による利用が増えてきました。また、美容院など通院以外の利用も増えてきました。
- ⑤パソコン指導は、スキルアップを継続したいとする会員が定着し、利用は計画をクリアしました。電話による相談や遠隔操作での指導に対する点数算入については、結論に至りませんでした。

(2) 福祉施設活動

NPO法人として、福祉施設活動を通して地域社会に貢献し、会員自身の生きがいにもつながる大切な活動と捉えて実施しました。「サンセール香里園」「エイジフリー・ライフ星が丘」とともに、活動内容に於いては大きな変化はありませんが、後者の「歌の会」、イベントとしての「秋祭りの手伝い」「餅つきの手伝い」が奉仕活動から時間預託活動へと移行し、預託活動がやや増加しましたが、提供活動者の確保が難しくなっているのが現状です。

2. 奉仕活動

担当 一宮順世・東平守弘

ナルク外部の活動を通して、地域と密着した活動を行いました。

今年度も年間12,000点の目標を達成しました。特筆すべきは、新会員も積極的に活動に加わったことも要因です。

(1) 福祉施設

「サンポエム」「エイジフリー・ライフ星が丘」「ひらかた聖徳園」

「北ディサービス」「エバーライフ御殿山」「その他福祉施設」では、施設利用者との交流により、高齢者や障がいを持った方への理解を深め、地域社会に貢献すると共に、会員自身の生きがいを見つける有意義な活動として実施しました。

活動内容は、日常的な配膳、下膳、季節的なイベント、ハンドマッサージ等に取り組みました。また文化部・同好会メンバーの訪問による奉仕活動も増えました。

(2) 子育て支援

「ファミリーポートひらかた」「すこやか広場きょうぶん」「広場さぷり」などの活動に、新会員にも積極的に呼びかけた結果、提供者の増加に繋がり計画を上回りました。

(3) 環境美化

この活動は天候に左右されることが多く、計画を大幅に下回りました。

「天の川クリーン&ウォーク」が2年ぶりに開催され、NALC「天の川クラブ」から51名が参加し、地域の美化運動に貢献しました。

(4) その他外部活動

青色防犯パトロールの活動は、枚方市全域で16台が防犯活動に努め、子どもたちや地域住民にも喜ばれ1,000点/年を達成しました。

ハンドマッサージは、施設での活動と防災学校やNPOフェスタの行事にも参加し好評を得ました。

3. 事業活動

担当 和田亮吉

本年度も枚方市から、市民を対象とした3事業を継続しました。

- (1)「在宅生活援助受託事業」は、市民への生活支援で継続の支援者は1名となりましたが、年2回の簡易な支援「スポット」は、3事業者での対応が定着してきたことにより、計画はほぼ達成できました。
- (2)「生きがい創造学園受託事業」は、事業の目的を遂行するため、行政と緊密な意見交換を行うとともに、各講座のリーダーとも会議をもち、講座内容について意見交換を行った結果、高齢者の「生きがいのある場作り」に貢献することができました。
- (3)「生涯学習情報プラザ受託事業」は、市民を対象としたパソコン指導で、初心者向けの「ミニ体験」は、日曜日を除き全日程開催しました。また、受講者増の向上に努めた結果、前年比111%に増加しました。「デジカメ写真取り込み」「おもしろパソコン」の講座は、好評に推移しました。

4. 文化・スポーツ活動

担当 梅田壽雄

文化・スポーツ部は、前年同様10グループの活動でしたが、計画2,300名に対し、1,886名と達成率80%と低調に推移しました。

『遊びの玉手箱』グループの子育て部門の分離に加えて、天候に左右されるスポーツクラブの開催減が大きく影響し、大幅な減少となりました。

一方、ミュージックベル、オカリナ、マジック友の会、オー・ジンは、小学校や地域の子育て、また福祉施設への訪問等継続的な奉仕活動に取り組み、社会貢献活動が増えてきました。

同好会活動では「天の川サロン」は「ふれあいルーム」の開設にともない多くの同好会が発足したことにより、初期の目的が達成したことから解散し

ました。したがって、現在の同好会は 10 グループとなりました。

「ふれあいルーム」のギャラリーは、本年度も会員の多彩な作品展示で盛況に推移しました。

5. 会員活動促進

担当 植本壽満枝

ボランティア活動を推進するに当たり、家事介助支援活動に必要な知識と技量向上のための研修会及び会員活動促進のため、次の活動を実施しました。

(1) 地区会

地区会の開催は、延べ 23 回参加者 556 名、2 回／年以上実施が定着し、地区サロン開催も増え、地区会の活性化が見られました。

地区担当運営委員・世話人代表が、他地区会へオブザーバーとして積極的に参加する事を進めましたが、初めてのことで低調に終わりました。

地区担当運営委員・代表世話人の交流会を開催し、地区間の情報交換や新入会員への取り組みなど有意義な意見交換が出来ました。

地区連絡員(会報手配り)の交流会を計画しましたが、諸般の事情により、開催する事が出来ませんでした。

(2) 会員研修

「シニア生活・介護支援サポーター研修」受講者 18 名。「コーディネーター養成講座」受講者 41 名(内新規 17 名)。「新入会員交流会」参加者 27 名(内新会員 16 名)が参加しました。

(3) イベント

定時総会 参加者 151 名、秋のイベント「天の川オータムフェスタ」参加者 207 名、日帰りバス旅行「高野山」参加者 44 名を実施しました。

(4) 活動区分別交流会

開催 32 回参加者 504 名、前年より約 50% の増となりました。

(5) 誕生月会

誕生月カードは、「絵手紙同好会」の作品をお届けしました。会員から、お礼のお手紙や感謝の声もあり好評でした。

6. 事務局活動

担当 東平守弘

①NALC「天の川クラブ」の運営を遅滞なく正確に進めるため、事務局の役割を明確化することで順調に事務処理することが出来ました。

②会報「天の川」は、担当者の交代により編集方法を変更しました。

③本年度もホームページの充実を図り、タイムリーな更新に努めました。

④ナルク以外のイベントや催しに積極的に参加し、NALC「天の川クラブ」の PR に努めました。